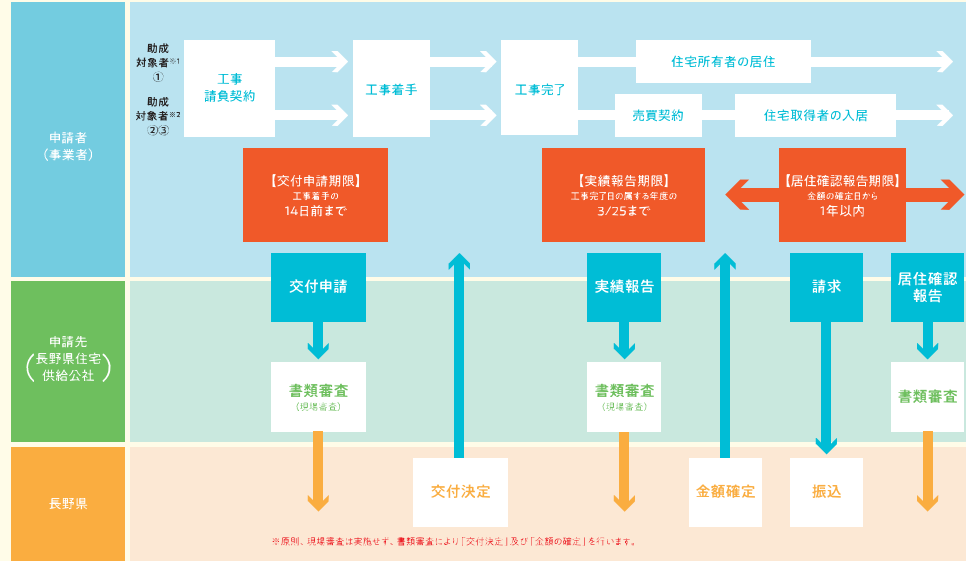


申請手続きの流れ



注意事項
 金額の確定日から1年以内に居住確認報告書の提出が必要です。助成対象住宅へ入居が確認できる書類を添付の上、早めに居住確認報告書の提出をお願いします。1年以内に居住確認報告がされない場合、助成金の返還となりますのでご注意ください。※1：住宅所有者と工事請負契約を締結する者※2：県内に主たる事務所を置く者と工事請負契約及び住宅取得者と売買取引を締結する者・自ら施工及び住宅取得者と売買取引を締結する者

申請書類
 申請書類の様式はホームページからダウンロードできます。また、添付書類の一覧も掲載しています。 信州健康ゼロエネ住宅

申請先 お問い合わせ先
 今年度から申請先等が変わっています。
 ご不明な点等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

長野県住宅供給公社事業部事業計画課
 〒380-0836 長野市大字南長野南県町1003番地1
TEL.026-227-4322 FAX 026-227-4190
 Mail njkkm@mx2.avis.ne.jp

信州健康ゼロエネ住宅助成金の詳しい情報はこちら

長野県建設部建築住宅課
 〒380-8570 長野市大字南長野字幡下692-2
 TEL 026-235-7339 FAX 026-235-7479
 Mail kenchiku@pref.nagano.lg.jp

お問合せ

信州健康ゼロエネ住宅 信州のZEH



募集期間

第1期 2024 4.15 > 2025 2.14
令和6年度中に完成するものが対象

第2期 2024 12.2 > 2025 3.14
令和7年度中に完成するものが対象

※先着順で決定しますので、お早めの申請をお願いいたします。

しあわせ信州 長野県

リフォーム住宅
最大140万円
助成!
 中面をチェック

信州健康ゼロエネ住宅 知ろうメリット

信州健康ゼロエネ住宅にすることでどんなメリットがあるのか知っていますか? 思いつくことは「省エネ」だと思いますが、実は「省エネ」はいくつかのメリットのひとつにすぎず、他にもいろんなメリットがあるんです。知って得して財布にも健康にもやさしい、信州だからできるオンラインワンの家づくりをしませんか。

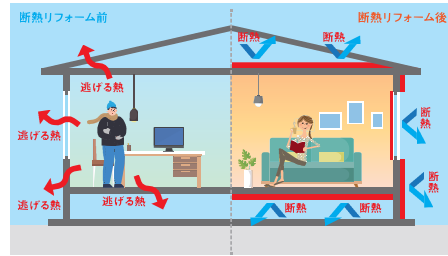


ZEH化リフォームにより、既存の住宅を信州健康ゼロエネ住宅とすることもできます。改修後の断熱性能は次の基準に適合するよう努めてください。

断熱リフォーム ZEH化

断熱リフォームにより外気温の影響を受けにくくなり、室内の壁・床・天井等の温度が改修前に比べて高くなります。建築年代の比較的新しいものは、窓などの開口部を断熱性能の高いものに取り替えるなど、比較的低予算で十分な断熱性能が得られる場合もあります。

区分	基準
断熱性能	新築の断熱性能における最低基準に適合

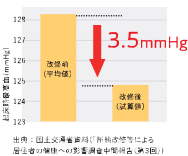


身体にやさしい ZEH化 健康省エネ

健康をサポート
ヒートショック予防にも

① 血圧の低下に有意

国の調査によれば、断熱リフォームによる室温の上昇で、リフォーム前に比べ居住者の起床時の最高血圧が有意[※]に低下するとの結果が示されています。



※ 統計的に偶然とは考えにくく、意味があると考えられることを指す統計用語

② アレルギーの抑制

断熱性能の高い家への転居後に、アレルギー性鼻炎などの各種症状の有病率が低下したアンケート調査結果が示されています。断熱性能の高い家では、結露によるカビやダニが発生しにくいことも要因の一つと言われています。

家計にやさしい ZEH化

家族も喜ぶ光熱費の節減
災害時用の非常電力にも

① 光熱費の節減

ZEH化の高断熱な壁、床、屋根、窓は、住宅の内外の熱の移動を少なくすることで、住宅内の室温を一定に保ちやすくなります。それにより断熱性能の向上、適切な気密施工等により、暖冷房にエネルギーをあまり使わないので光熱費が安くなります。信州健康ゼロエネ住宅は、最低基準でも省エネ基準の住宅よりも月々の支払が安くなり「お得」になります。

	国省エネ基準	県最低基準	最低+太陽光3kW
光熱費	35,800円/月	28,300円/月	21,200円/月

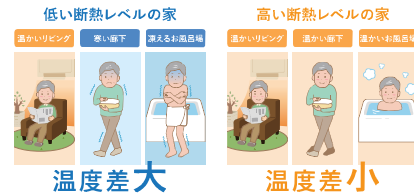
※2023年1月現在

Column

1981年(昭和56年)以前に建築された住宅は耐震性能が不足する可能性があります。断熱リフォームに合わせて耐震リフォームも検討してみてください。

③ ヒートショック防止

ヒートショックとは寒暖差によって血圧が急上昇・急降下することにより、血管や心臓に大きな負担がかかることを指します。ヒートショックが原因で毎年多くの方が亡くなっています。断熱リフォームによって、住宅内の空間温度差をできるだけ小さくすることで、ヒートショックの防止につながります。



部屋間の温度差を無くすために居室だけでなく、家全体を暖かくすることが重要です。

信州健康ゼロエネ住宅 賢くつかおう 助成金

長野県では住宅分野における2050ゼロカーボン実現に向け信州健康ゼロエネ住宅指針^{※1}の基準に適合させる性能向上リフォーム等をする場合に、**最大140万円**を助成します。断熱効果を高めることで冬あたたかく夏涼しい快適な住まいとなるだけでなく、ヒートショックが予防され健康にやさしく、また光熱費が少ないエコな暮らしとなります。



助成対象者 以下の①~③のいずれかに該当する県内に主たる事務所を置く事業者

- 住宅所有者と工事請負契約を締結する事業者(例:住宅のリフォーム工事を行う工務店)
- 県内に主たる事務所を置く事業者と工事請負契約及び住宅取得者と売買契約を締結する事業者(例:住宅の買取再販の際にZEH化リフォーム工事を行う宅地建物取引業者)
- 自ら施工及び住宅取得者と売買契約を締結する事業者(例:住宅の買取再販の際にZEH化リフォーム工事を行う工務店兼宅地建物取引業者)

助成対象住宅 以下のいずれにも該当する住宅

- 県内に所在する住宅(住宅部分が1/2以上の店舗併用住宅を含む)
- 再生可能性エネルギー設備等の導入について検討を行ったもの

助成対象工事

県内事業者が施工する①又は②のいずれかのリフォーム工事が必須

①	ZEH化リフォーム	住宅部分を信州健康ゼロエネ住宅指針 ^{※1} の最低基準(外皮及び一次エネルギー消費量)以上に適合させる断熱改修等
②	健康省エネリフォーム ^{※2} (ア又はイ)	ア 浴室及び脱衣室又は寝室について外気等に接する壁、床、天井又は屋根の見付面積10㎡以上の部分を断熱改修(改修部分の合計で可)かつ、外気等に接するすべての建具の断熱改修(既に断熱性能がある建具の改修は不要) イ 住宅部分全体の外気等に接する床、天井又は屋根の断熱改修

※1 信州の恵まれた自然環境と森林資源を生かした快適で健康な「信州健康ゼロエネ住宅」の普及を促進し、その建築手法等を提示するために策定したものです。
 ※2 住宅部分の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する誘導基準及び一次エネルギー消費量に関する誘導基準(令和4年11月7日国土交通省告示第1106号)とします。

助成金額 次の金額のうち最も小さい額(1,000円未満切捨て) 必須工事に併せて実施する下表の工事も助成対象とすることが可能

先導基準 140万円(ZEH化リフォーム) 推奨基準 120万円(ZEH化リフォーム) 最低基準 100万円(ZEH化リフォーム) 50万円(健康省エネリフォーム)	or	総工事費の20%	or	工事内容に応じた 下表の助成単価の合計額
---	----	----------	----	-------------------------

区分	対象工事等	助成単価
断熱改修	外気等に接する壁、床、天井又は屋根の断熱改修	3,000円/㎡
	外気等に接する壁、床、天井又は屋根の断熱改修(ZEH化リフォームで先導基準又は推奨基準に適合)	4,000円/㎡
バリアフリー	外気等に接する建具の断熱改修	下記参照
	床の段差を解消(勾配1/12以下のスロープ設置)	2,000円/箇所
	出入口の幅を拡張(通行上有効な幅を750mm以上確保)	10,000円/箇所
	便器の取り替え(和式から洋式に)	50,000円/箇所
	便所又は浴室の面積を拡大 [便所:内法1,100×1,300mm または、洋式便器と前方・側方の壁の距離500mm 浴室:短辺内法1,400mmかつ内法面積2.5㎡]	50,000円/箇所
県産木材	仕上げ用板材または合板を使用	2,000円/㎡
	仕上げ用板材または合板以外の材を使用	5,000円/㎡
再生可能エネ	木質ペレットストーブ・薪ストーブ又は集熱面積4㎡以上の太陽熱利用給湯システムを導入	100,000円
伝統技能	左官仕上げ壁、国産瓦ぶき、県内業者製作の木製建具及び畳のうちいずれか2つを活用	100,000円

外気等に接する建具の断熱改修に係る助成単価

窓	建具の区分(面積)	1箇所当たりの助成額	ドア	建具の区分(面積)	1箇所当たりの助成額
	2.8㎡以上	31,000円		開戸:1.8㎡以上・引戸:3.0㎡以上	45,000円
1.6㎡以上2.8㎡未満	24,000円		開戸:1.0㎡以上1.8㎡未満 引戸:1.0㎡以上3.0㎡未満	40,000円	
0.2㎡以上1.6㎡未満	20,000円				